相手を打ち破るように打つには　手だけではなく身体を前に出して打つ

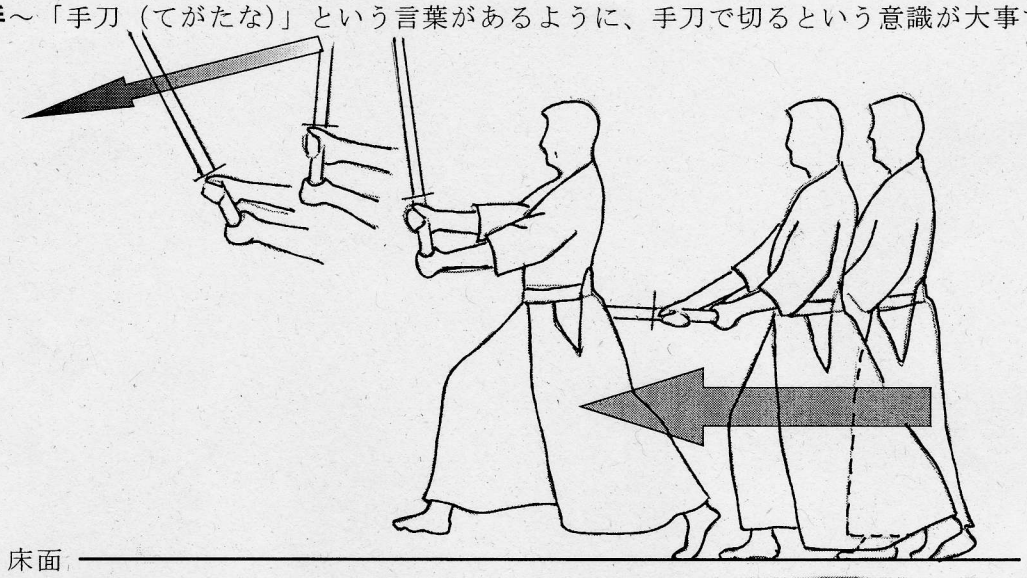
◎　**左足**～可能な限り、「身体の縦の線」を崩さないように使うことがポイントである

◎　**右足**～すり足で打てという教えもあるが、物理的には「踏み込む」という動作が必要である

○　**左手**～相手の「突き垂れ」方向に、こぶしを立てるように出していき、最後は切り手となる

○　**右手**～極端に肘を曲げることがないように上げ、左手を支点に強く押し込んで打突する

※　**両手**～「手刀（てがたな）」という言葉があるように、手刀で切るという意識が大事である



※　左足は「蹴り足」というが、その前段では身体を「前に押し出す」意識が必要である。

※　打突後は「三角形（両肩と両腕により形成）」を崩さないよう「ズーン」と打ち抜ける。